

ダイアボンド HP50

ダイアボンドHP50は、ポリプロピレンなどのポリオレフィンフォーム用プライマーです。

§ 特長

1. ポリオレフィンフォームに対する密着性に優れます。
2. クロロプレンゴム系やポリウレタン系接着剤など割合多くの接着剤が使用できます。
3. 作業環境のバラツキに割合広く対応できます。
4. 溶剤乾燥 (80 °C×3分間以上) 後の高温加熱工程の必要がありません。

§ 一般性状

主 成 分	特殊合成ゴム
外 観	淡黄色
不 揮 発 分 (%)	10 ± 1
粘 度 (mPa·s) at20°C	30 ~ 150
指触乾燥時間 (分) at20°C	3 ~ 5
保 証 期 間 (月) at25°C	12
引 火 点 (°C)	-17
発 火 点 (°C)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 計量・混合 主剤と硬化剤 (デスモジュールRE) を規定量正確に配合し、十分に混合攪拌 (3分間以上) します。
混合量 主剤 : 硬化剤 (RE) 100 : 2
3. 塗布 ポリオレフィンフォーム面にダイアボンドHP50をロールコーターなどで規定量を均一に塗布します。
塗布量 30~50 g/m²
4. 乾燥 接着剤塗布後、乾燥炉で溶剤が残らないように充分乾燥させます。
乾燥温度と時間 80 °C×3分間 以上
乾燥後、冷ロールなどでブロッキングが起きないように充分に冷却してから巻き取ります。
巻き取りの際、ゆるく巻き、強く巻かないように注意して下さい。

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当。

☆ 被着材によっては、接着しにくいものがあります。また、接着剤およびシーリング材との組合せによっても、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。